

川崎市における医師会と 行政の連携による 病児保育施設の開設と運営

公益社団法人川崎市医師会 副会長
社会福祉法人「虹の会」業務執行理事
片岡 正

神奈川県における地域医療介護総合確保基金(医療分)を活用した 病児・病後児保育

＜県内各地域の分布＞

横浜市 22施設

川崎市 7施設

相模原市 3施設

その他 20施設(3市以外の10市町村)

- ・病児保育室のH29年度 延利用児童数 24,170名
- ・病後児保育室のH29年度の延利用児童数 8,007名
- ・体調不良児型保育室1ヶ所(座間市)
H29年度の延利用児童数 107名

神奈川県における確保基金を活用した 病児・病後児保育

- ・医療機関に併設されている病児保育室 26施設
(うち、大学病院1、病院6、クリニック19)
- ・川崎市から川崎市医師会に委託されている病児保育室
(市内4区、中原・宮前・川崎区・麻生区)
- ・川崎市から川崎市医師会に委託されている病後児保育室
(市内3区、幸区・高津区・多摩区)

現行の病児・病後児保育への補助

(25年度予算額) 4,841百万円 → (26年度概算要求額) 5,196百万円

	病児対応型・病後児対応型	体調不良児対応型	非施設型(訪問型)
事業内容	地域の病児・病後児について、病院・保育所等に付設された専用スペース等において看護師等が一時的に保育する事業	保育中の体調不良児を一時的に預かるほか、保育所入所児に対する保健的な対応や地域の子育て家庭や妊産婦等に対する相談支援を実施する事業	地域の病児・病後児について、看護師等が保護者の自宅へ訪問し、一時的に保育する事業 ※平成23年度から実施
対象児童	当面症状の急変は認められないが、病気の回復期に至っていないことから(病後児の場合は、病気の回復期であり)、集団保育が困難であり、かつ保護者の勤務等の都合により家庭で保育を行うことが困難な児童であって、市町村が必要と認めたおおむね10歳未満の児童	事業実施保育所に通所しており、保育中に微熱を出すなど体調不良となった児童であって、保護者が迎えに来るまでの間、緊急的な対応を必要とする児童	病児及び病後児
実施主体	市町村(特別区を含む)又は市町村が適切と認めた者	市町村(特別区を含む)又は保育所を経営する者	市町村(特別区を含む)又は市町村が適切と認めた者
実施要件	<ul style="list-style-type: none"> ■ 看護師:利用児童おおむね10人につき1名以上配置 保育士:利用児童おおむね3人につき1名以上配置 ■ 病院・診療所、保育所等に付設された専用スペース又は本事業のための専用施設等 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 看護師等を常時2名以上配置(預かる体調不良児の人数は、看護師等1名に対して2名程度) ■ 保育所の医務室、余裕スペース等で、衛生面に配慮されており、対象児童の安静が確保されている場所等 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 預かる病児の人数は、一定の研修を修了した看護師等、保育士、家庭的保育者のいずれか1名に対して、1名程度とすること等
交付実績 (H24年度)	1,102か所 (病児対応型561か所、病後児対応型541か所) (延べ利用児童数 約49万人)	507か所	1か所
補助率	1/3 [国 1/3 都道府県 1/3 市町村 1/3 (国 1/3 指定都市・中核市 2/3)]		

子育て支援法による補助

現行制度

○病児対応型

【基本分基準額】

1か所あたり年額 2,400千円

【加算分基準額】(年間延べ利用児童数により補助)

10人以上 50人未満 …… 500千円

50人以上 200人未満 …… 2,500千円

～ (以下、200人刻みで単価を設定)

2,000人以上 …… 21,750千円

○病後児対応型

【基本分基準額】

1か所あたり年額 2,000千円

【加算分基準額】(年間延べ利用児童数により補助)

10人以上 50人未満 …… 400千円

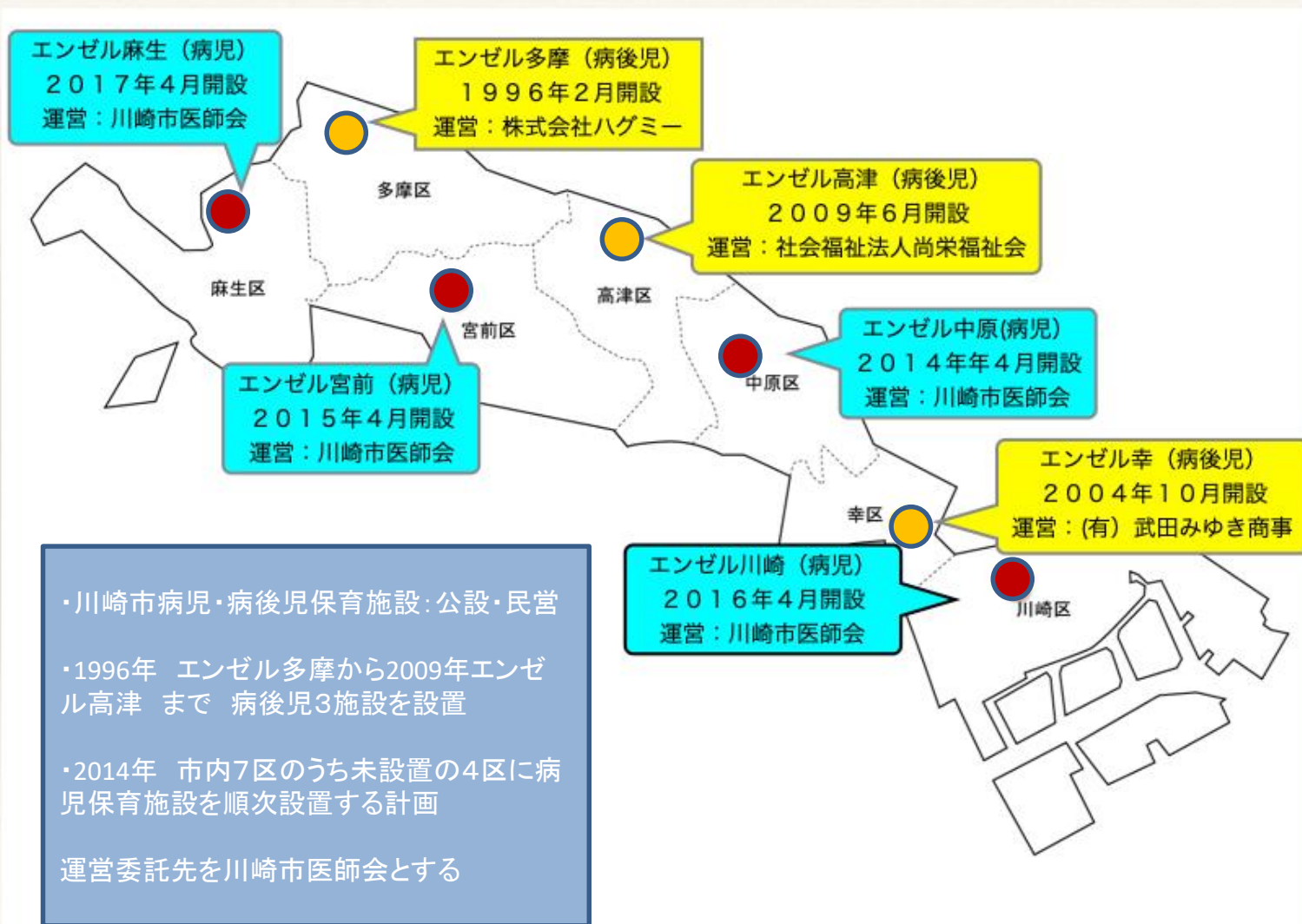
50人以上 200人未満 …… 2,200千円

～ (以下、200人刻みで単価を設定)

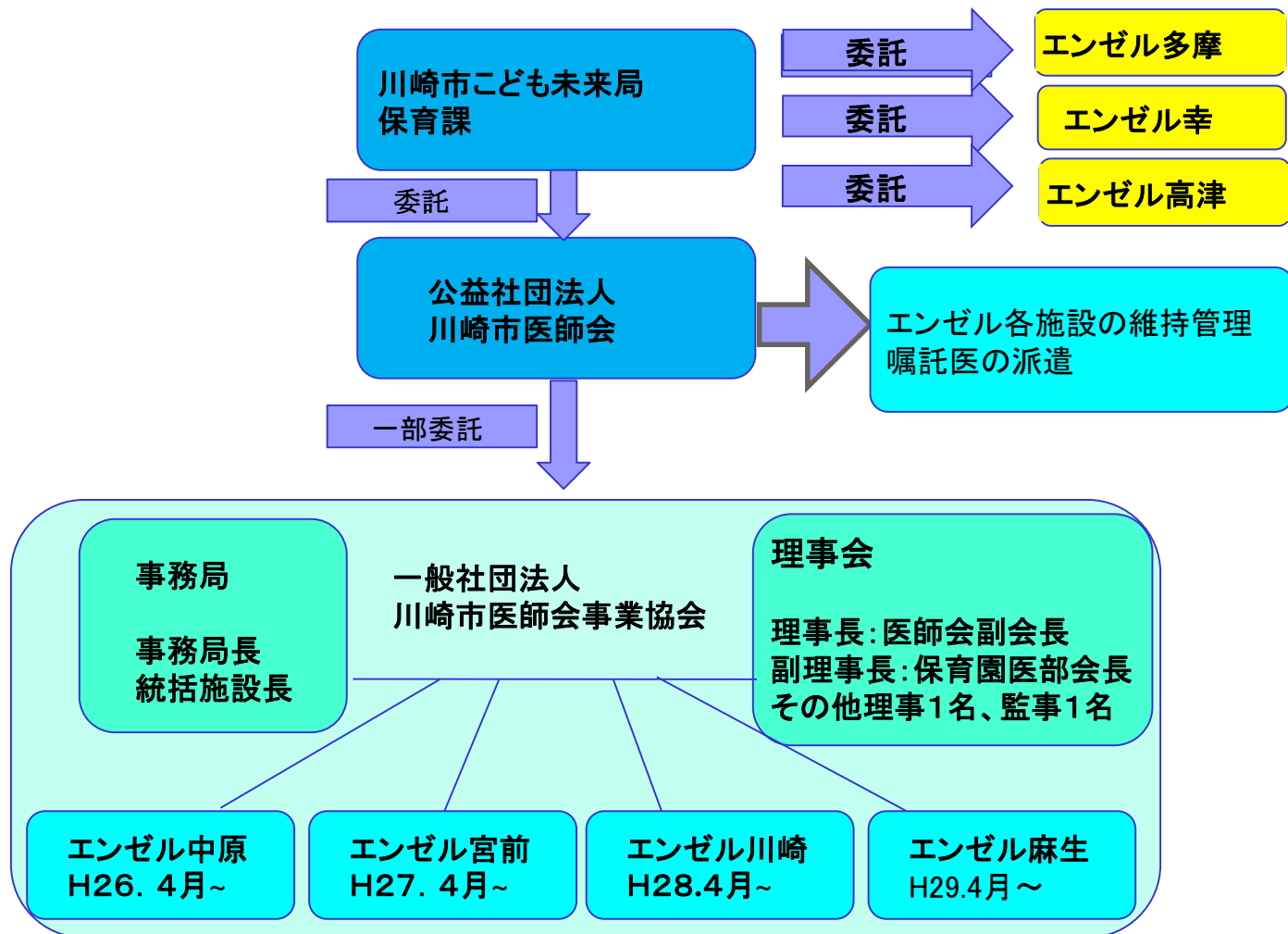
2,000人以上 …… 20,100千円

等

川崎市の病児・病後児保育施設



川崎市病(後)児保育事業のスキーム



病児保育施設の新設

- 新規病児保育施設の嘱託医の公募要件
医療機関に併設もしくは隣接（200m以内）する床面積100㎡以上の借り上げ候補物件を確保すること
利用定員は10名～12名
- 祝日をのぞく月曜～金曜に対応すること
- エンゼル選定会議
応募のあった医療機関と物件を市の職員が現地調査
医師会の担当役員・市の担当職員の合議で新規設置のエンゼルを選定
- エンゼル合同会議
従来の病後児保育施設との合同の運営会議を行う



嘱託医回診

エンゼル宮前

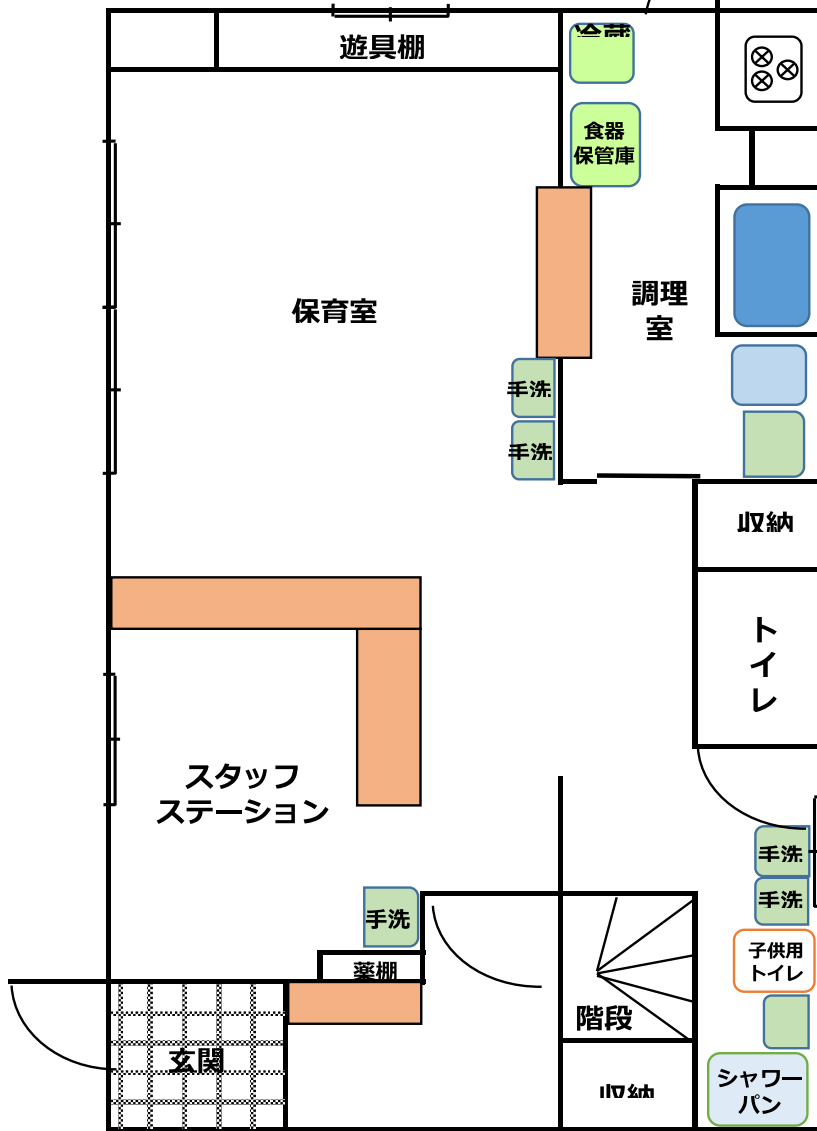


パネルシアター

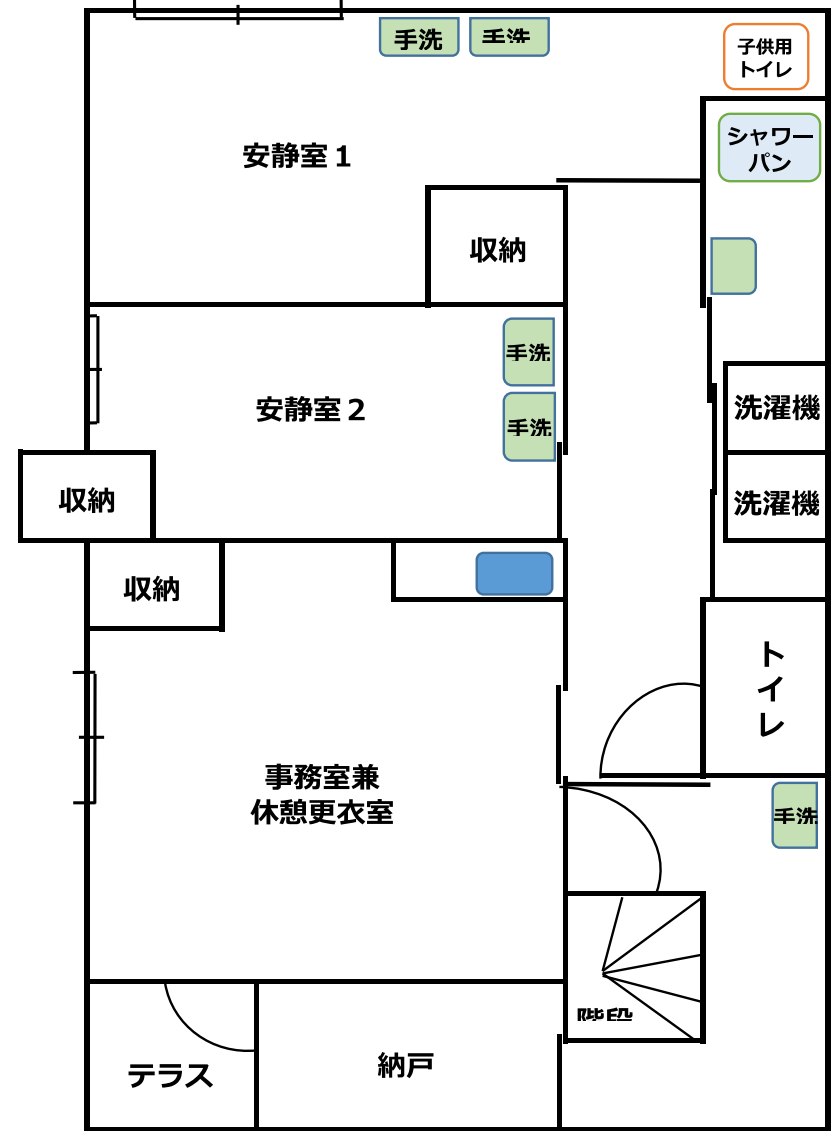


豆まき

エンゼル宮前 平面図



1階



2階



エンゼル中原

避難訓練



ランチタイム



装飾



みつばち
ルーム



てんとうむしルーム



ちょうちょ
ルーム



子育て情報
コーナー



エンゼル川崎

新設病児保育施設の運営

- 新規開園にかかる施設整備費 1施設当たり
1500万～2000万 (施設により幅がある)
川崎市が負担
- 施設運営経費 1施設平均/年間
4700万円 (利用料収入を相殺した額) 川崎市からの委託金
- 嘱託医 1名
常勤職員 6名
事務員・施設長 1名
調理員 1名
用務員 1名
パート職員 1名 (常勤換算)
- 家賃、修繕費、管理費

平成30年4月から運営形態を変更

- 川崎市の待機児童対策
新設保育園のために医師会が用地を提供
- 新設保育園を運営する社会福祉法人
「虹の会」を設立
- 一社「川崎市医師会事業協会」を解散
- 社会福祉法人「虹の会」に役員・職員を吸収
川崎市医師会事業協会が受託していた
病児保育4施設の運営を「虹の会」に移管
- 川崎市医師会と川崎市の関係は従来通り

平成30年度 病児保育施設エンゼル 利用実績

月間利用延人数及び開所日数

平成30年 度	エンゼル川崎 (12名)		エンゼル中原 (12名)		エンゼル宮前 (12名)		エンゼル麻生 (12名)	
	利用人数	開所日数	利用人数	開所日数	利用人数	開所日数	利用人数	開所日数
4月	50	20	91	20	64	20	61	20
5月	107	21	90	21	99	21	60	21
6月	110	21	114	21	113	21	78	21
7月	109	21	130	21	147	21	89	21
8月	112	19	96	18	121	20	74	18
9月	102	18	84	18	100	18	45	18
10月	92	22	90	22	108	22	64	22
11月	78	21	85	21	86	21	66	21
12月	99	19	88	19	101	19	55	19
1月	119	19	83	18	134	19	75	18
2月	99	19	75	19	97	19	66	19
3月	49	20	73	20	56	20	41	20
年間利用 延人数	1126	240	1099	238	1226	241	774	238
月の平均	93.8		91.6		102.2		64.5	

1日平均利用人数及び利用率

エンゼル川崎		エンゼル中原		エンゼル宮前		エンゼル麻生	
1日平均 利用人数	利用率	1日平均 利用人数	利用率	1日平均 利用人数	利用率	1日平均 利用人数	利用率
2.5	21%	4.6	38%	3.2	27%	3.1	25%
5.1	42%	4.3	36%	4.7	39%	2.9	24%
5.2	44%	5.4	45%	5.4	45%	3.7	31%
5.2	43%	6.2	52%	7.0	58%	4.2	35%
5.9	49%	5.3	44%	6.1	50%	4.1	34%
5.7	47%	4.7	39%	5.6	46%	2.5	21%
4.2	35%	4.1	34%	4.9	41%	2.9	24%
3.7	31%	4.0	34%	4.1	34%	3.1	26%
5.2	43%	4.6	39%	5.3	44%	2.9	24%
6.3	52%	4.6	38%	7.1	59%	4.2	35%
5.2	43%	3.9	33%	5.1	43%	3.5	29%
2.5	20%	3.7	30%	2.8	23%	2.1	17%
4.7	39%	4.6	38%	5.1	42%	3.3	27%

女性医療従事者の利用状況

	エンゼル 川崎	エンゼル 中原	エンゼル 宮前	エンゼル 麻生	4施設 合計
女性医療従事者 登録数	92	302	211	81	686
女性医療従事者 利用数	51	96	108	45	300
女性医師 登録数(判明分)	3	4	5	1	13
累積 全登録者数	1078	3622	1941	715	7356

- ・女性医療従事者には医師・看護師・事務・検査技師等を含む
- ・登録票には職種(医師であるかどうか)の記載欄がない
- ・各施設は開設時期が異なるため、集計期間が異なる

病児保育施設の問題点

- 女性医師の働き方に対応した受け入れができていない
- 前日はキャンセル待ちが10名でも当日になってみると定員の半分しか埋まらない
- キャンセル待ちになると翌日の予定が決められない
- キャンセルを見越した予約システムが望まれる